

## 宮代町の地球温暖化に関するアンケート調査結果

### 1 調査概要

#### (1) 目的

地球温暖化に対する町民、事業者の意識、取組の実施状況、町の環境施策に対するニーズを把握し、「宮代町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、町民、事業者を対象にアンケート調査を実施しました。

#### (2) 調査対象・調査期間・回答数

##### ア 町民アンケート調査

調査対象	住民基本台帳から無作為に抽出した 20 歳以上の住民 1000 名
調査期間	2024 年 8 月 9 日～2024 年 8 月 30 日
調査方法	二次元バーコードを貼付した調査票を郵送にて配布し、WEB 上と紙媒体のいずれかで回収
回答数・回答率	314 件・31.4%

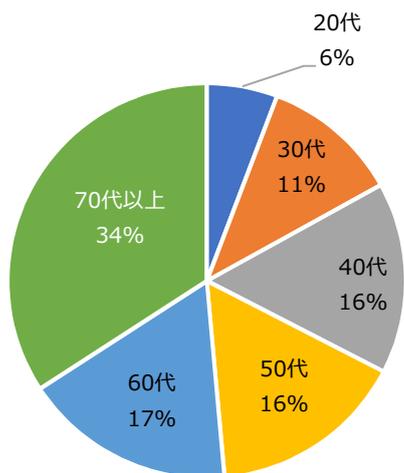
##### イ 事業者アンケート調査

調査対象	宮代町内事業者 100 社
調査期間	2024 年 8 月 9 日～2024 年 8 月 30 日
調査方法	二次元バーコードを貼付した調査票を郵送にて配布し、WEB 上と紙媒体のいずれかで回収
回答数・回答率	30 件・30%

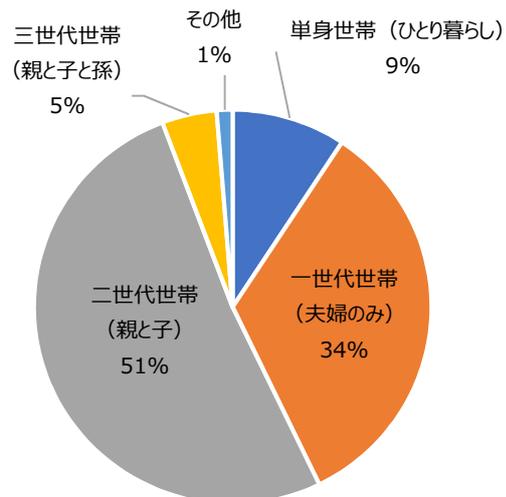
## 2 町民アンケート調査結果

【質問1】 ご回答者について、該当するものをお選びください。

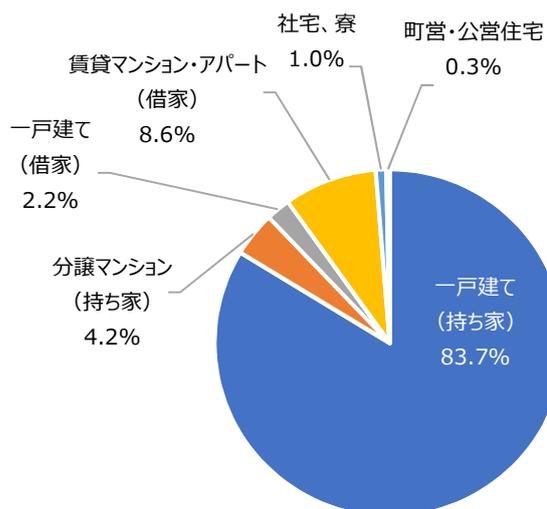
① 年代 (n=313)



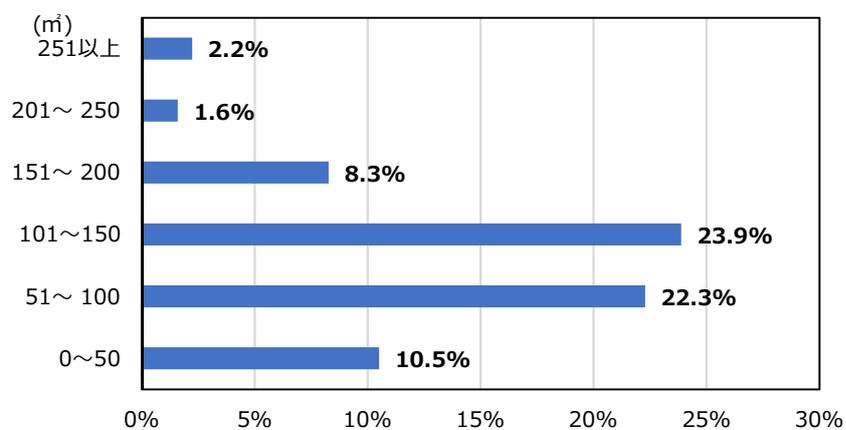
② 世帯人数 (回答者を含む) (n=313)



③ 住居形態 (n=313)

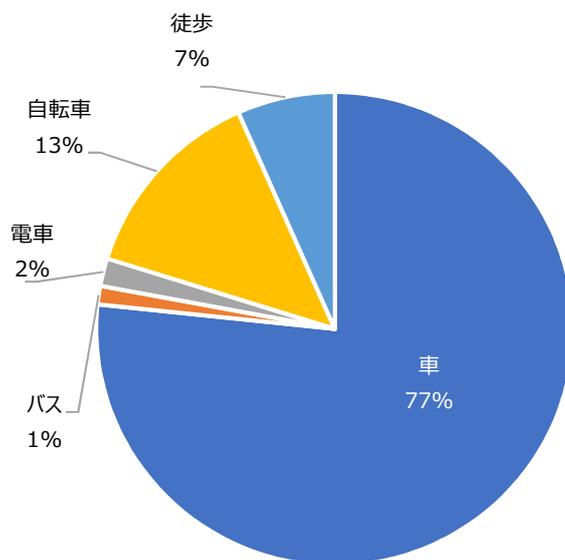


④ 住居の床面積 (n=216)

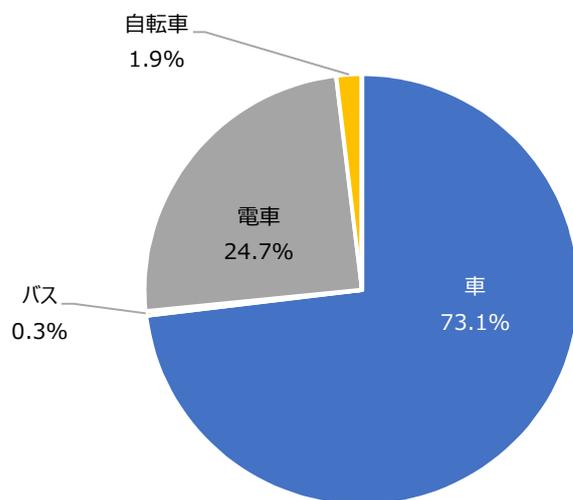


【質問2】 あなたの最も多い移動手段をお選びください。

① 町内 (n=317 ※複数回答のあった2名の回答も含む)



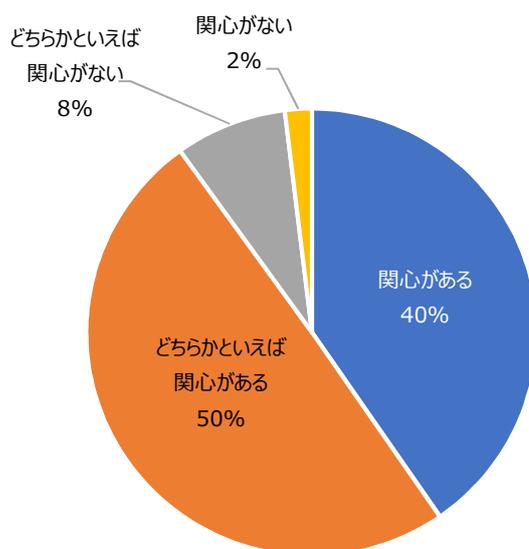
② 町外 (n=316 ※複数回答のあった3名の回答も含む)



**【質問3】** あなたは地球温暖化の問題に関心がありますか。

(n=312)

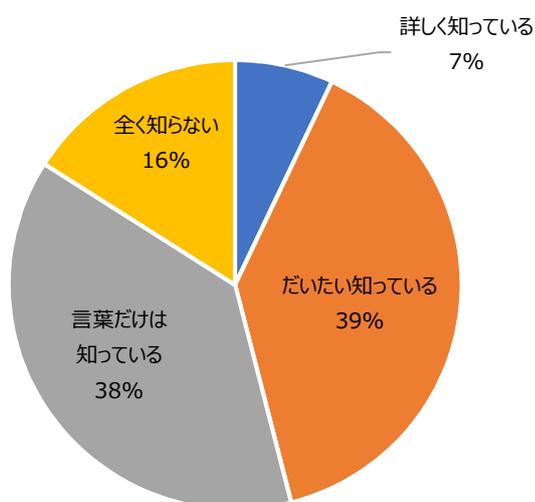
・「関心がある」、「どちらかといえば関心がある」と答えた回答者は全体の90%であった。



**【質問4】** あなたはゼロカーボン（温室効果ガス実質ゼロ）の目的や内容について、知っていますか。

(n=313)

・「詳しく知っている」、「だいたい知っている」と答えた回答者は全体の46%であった。

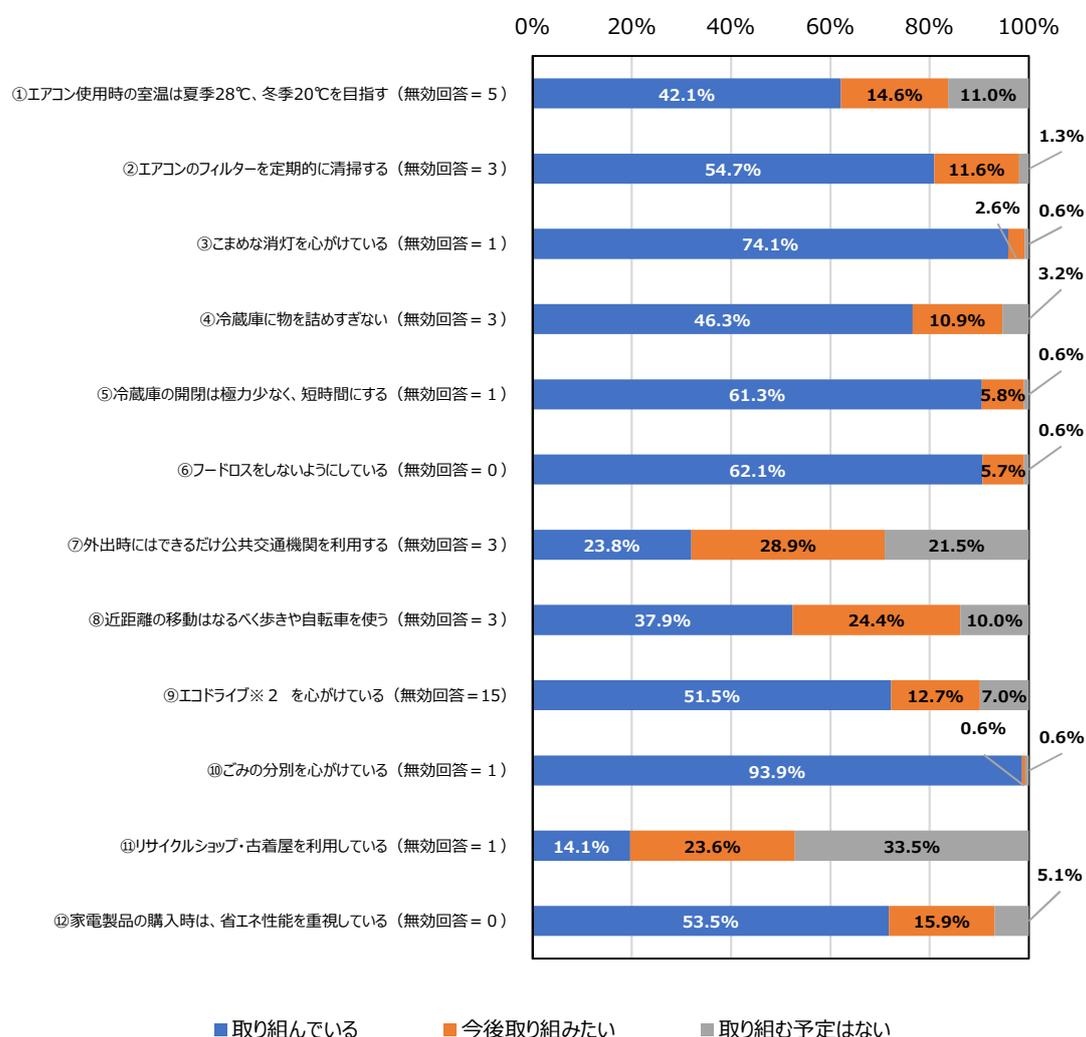


**【質問5】** あなたは次の環境に配慮した取組を行っていますか。

(n=314)

・取り組んでいる項目では、「ごみの分別を心がけている」、「こまめな消灯を心がけている」「フードロスをしないようにしている」の順に回答が多かった。

・取り組む予定はない項目では、「リサイクルショップ・古着屋を利用している」、「外出時にはできるだけ公共交通機関を利用する」、「エアコン使用時の室温は夏季 28℃、冬季 20℃を目指す」の順に回答が多かった。



※無効回答は回答なしを指します。

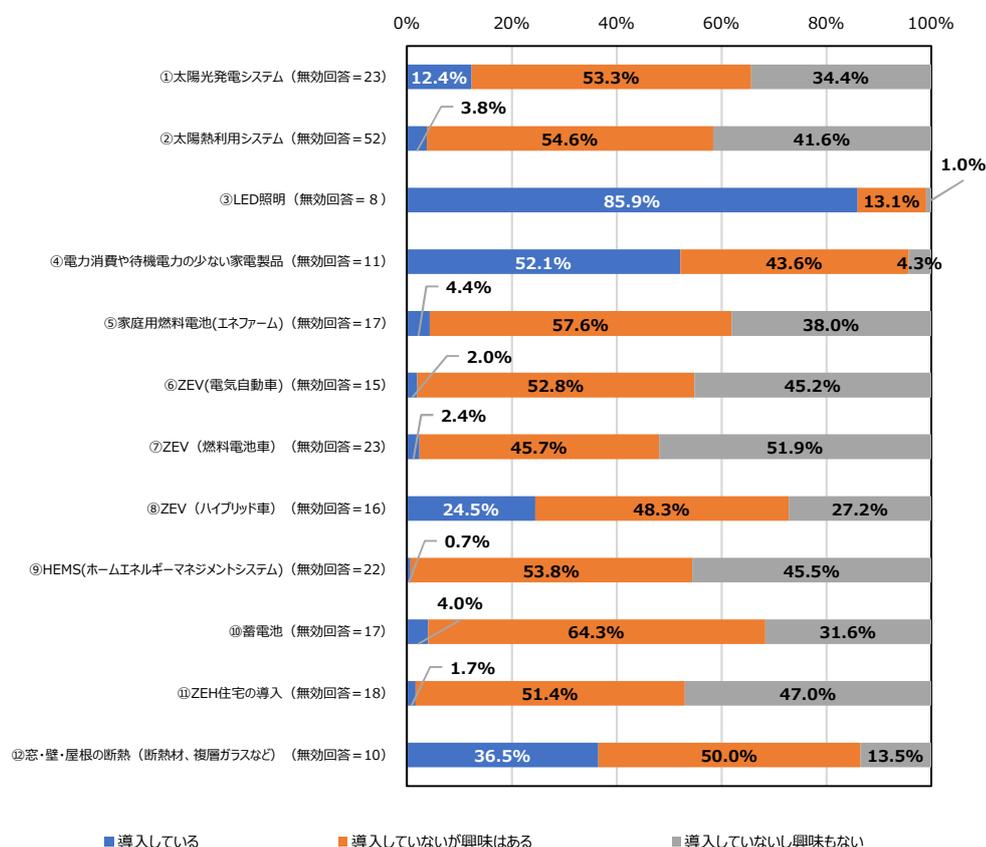
【質問6-1】あなたは次のような省エネルギー及び再生可能エネルギーに係る設備、システム等を導入していますか。また、導入していない場合興味はありますか。

(n=314)

・導入済みの設備・システムについては、「LED照明」、「電力消費や待機電力の少ない家電製品」、「窓・壁・屋根の断熱（断熱材、複層ガラスなど）」の順に回答が多かった。

・「導入していないが興味はある」については、「蓄電池」、「家庭用燃料電池(エネファーム)」、「ZEV(電気自動車)」の順に回答が多かった。

・「導入していないし興味もない」については、「ZEV（燃料電池車）」、「ZEH住宅の導入」、「HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)」の順に回答が多かった。



※無効回答は回答なし等を指します。

【質問6-2】省エネルギー及び再生可能エネルギーに係る設備、システム等を導入するにあたり、重視したことまたは重視することは何ですか。(複数回答可)

(n=314)

・重視したことまたは重視することとして「金銭面」が最も多い回答となった。

【回答】

金銭面：262人/314人(83%)

利便性や快適性：161人/314人(51%)

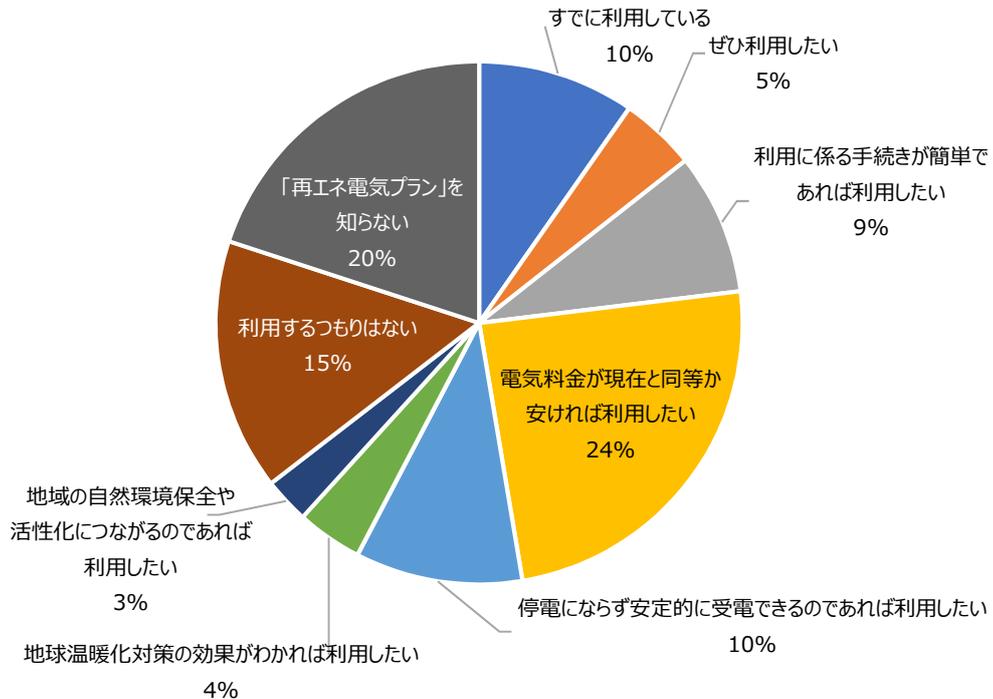
災害時対策：121人/314人(39%)

CO<sub>2</sub>削減効果：86人/314人(27%)

【質問7】あなたは「再エネ電気プラン」のような電力プランを利用したいと思いますか。

(n=321 ※複数回答のあった11名の回答も含む)

・「電気料金が現在と同等か安ければ利用したい」という回答が一番多かった。



**【質問8】** 地球温暖化の原因となる二酸化炭素を削減するため、町に行ってほしい取組は何ですか。重要と思う取組を4つ選び、優先度順に1～4の番号をつけてください。  
※優先度1を4ポイント、優先度2を3ポイント、優先度3を2ポイント、優先度4を1ポイントとして集計し、その合計を下の図に反映しています。

(n=1122 ※優先度1～4の回答数の合計)

・町に行ってほしい取組は、「太陽光発電、蓄電池、省エネ設備導入のための補助金等支援制度の充実」が最も優先度が高く、次いで「公共交通機関の利便性向上」、「ごみ量の削減、リサイクルの推進」となった。

**【回答】**

太陽光発電、蓄電池、省エネ設備導入のための補助金等支援制度の充実：639ポイント

公共交通機関の利便性向上：491ポイント

ごみ量の削減、リサイクルの推進：329ポイント

公共施設等含む町内への再生可能エネルギー導入：308ポイント

太陽光発電、蓄電池、省エネ家電・設備等に関する情報提供の充実：268ポイント

森林整備等、二酸化炭素を吸収する取組の推進：246ポイント

子どもたちに対する環境学習の推進：221ポイント

住民に対して環境保全意識の啓発活動を行う：158ポイント

他自治体との連携による地球温暖化対策の取組：129ポイント

### 3 事業者アンケート調査結果

※母数が少ないため、パーセンテージではなく、回答件数で示しております。

**【質問1】** 貴事業所について、該当するものを選択してください。

#### ① 業種 (n=30)

・「建設業」が最も多かった。

**【回答】**

建設業：11 事業所/30 事業所

製造業：3 事業所/30 事業所

卸売業、小売業：3 事業所/30 事業所

金融業、保険業：3 事業所/30 事業所

不動産業、物品賃貸業：1 事業所/30 事業所

宿泊業、飲食サービス業：1 事業所/30 事業所

複合サービス業：1 事業所/30 事業所

サービス業（他に分類されないもの）：5 事業所/30 事業所

その他：2 事業所/30 事業所

#### ② 事業所の形態(n=30)

・「事務所、営業所」が最も多かった。

**【回答】**

事務所、営業所：19 事業所/30 事業所

店舗：6 事業所/30 事業所

工場、作業所：7 事業所/30 事業所

その他：2 事業所/30 事業所

③ 入居形態 (n=29)

・「自社所有」が最も多かった。

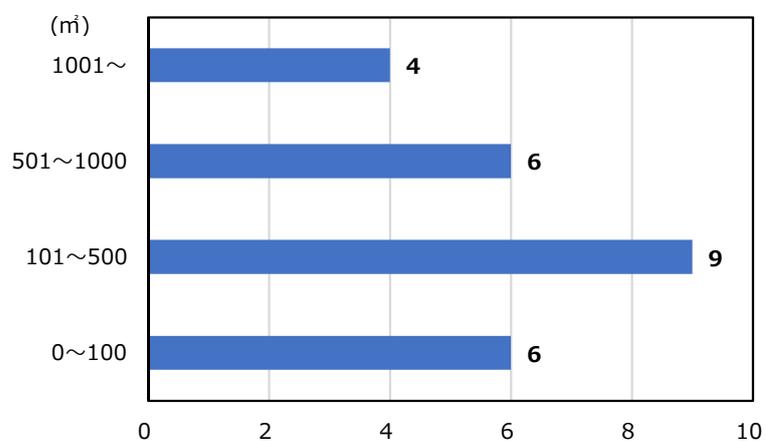
【回答】

自社所有：20 事業所/29 事業所

テナント入居：7 事業所/29 事業所

その他：2 事業所/29 事業所

④ 事業所の床面積 (n=25)



⑤ 従業員数 (n=30)

・「10 人未満」が最も多かった。

【回答】

10 人未満：19 事業所/30 事業所

10~29 人：8 事業所/30 事業所

30~49 人：2 事業所/30 事業所

50~99 人：0 事業所/30 事業所

100~299 人：1 事業所/30 事業所

300 人以上：0 事業所/30 事業所

⑥ 業務自動車（普通自動車）の保有台数（n=28）

・「2台」が最も多かった。

【回答】

0台：4事業所/28事業所

1台：9事業所/28事業所

2台：10事業所/28事業所

3台：3事業所/28事業所

4台：2事業所/28事業所

5台以上：0事業所/28事業所

⑦ 普通自動車のうちのEV車数（n=8）

・「0台」が最も多かった。

【回答】

0台：6事業所/8事業所

1台：2事業所/8事業所

2台以上：0事業所/8事業所

⑧ 業務自動車（軽自動車）の保有台数（n=28）

・「1台」が最も多かった。

【回答】

0台：4事業所/28事業所

1台：6事業所/28事業所

2台：5事業所/28事業所

3台：1事業所/28事業所

4台：5事業所/28事業所

5台：2事業所/28事業所

6台：1事業所/28事業所

7台：2事業所/28事業所

11台：1事業所/28事業所

23台：1事業所/28事業所

⑨ 軽自動車のうちのEV車数 (n=7)

・「0台」が最も多かった。

**【回答】**

0台：6事業所/7事業所

1台：1事業所/7事業所

2台以上：0事業所/7事業所

⑩ 業務自動車（トラック）の保有台数 (n=24)

・「1台」が最も多かった。

**【回答】**

0台：6事業所/24事業所

1台：7事業所/24事業所

2台：4事業所/24事業所

3台：2事業所/24事業所

4台：1事業所/24事業所

5台：2事業所/24事業所

7台：1事業所/24事業所

11台：1事業所/24事業所

**【質問2】** 貴事業所では、温室効果ガス排出量の把握をしていますか。

(n=30)

・把握していない事業所のほうが多かった。

**【回答】**

把握している（概算含む）：3事業所/30事業所

把握していない：27事業所/30事業所

**【質問3】** 貴事業所では、温室効果ガス排出量の削減に向けて、削減目標や方針を定めていますか。

(n=29)

・「定めている」「現在検討中である」と回答した事業所の合計が約半数だった。

**【回答】**

定めている：3事業所/29事業所

現在検討中である：11事業所/29事業所

定める予定はない：15事業所/29事業所

【質問4-1】 貴事務所の地球温暖化対策に取り組む考え方についてご回答ください。  
(n=30)

・「地球温暖化対策にできる範囲で取り組めばよいと考える」と回答した事業所が最も多かった。

【回答】

地球温暖化対策にできる範囲で取り組めばよいと考える：21 事業所/30 事業所

地球温暖化対策に積極的に取り組む考えがある：4 事業所/30 事業所

地球温暖化対策にはどちらかというと消極的である：4 事業所/30 事業所

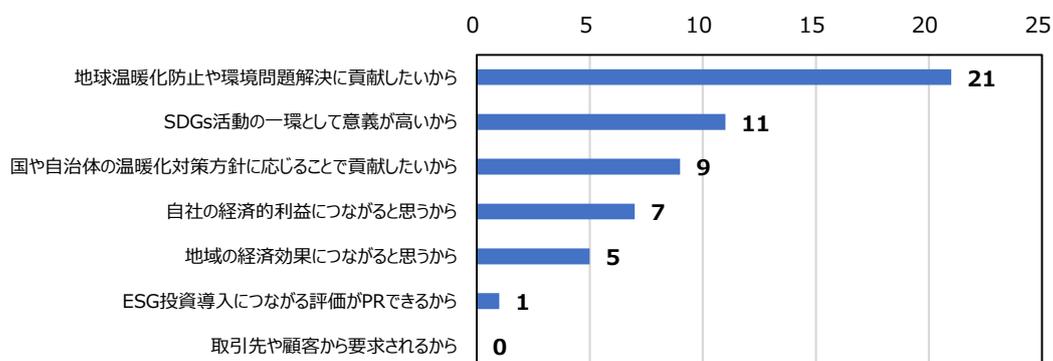
地球温暖化対策には消極的である：1 事業所/30 事業所

【質問4-2】 地球温暖化対策に取り組む、または取り組みたい主な理由に該当するものをお選びください。(3つまで回答可)

※【質問4-1】で「地球温暖化対策に積極的に取り組む考えがある」または「地球温暖化対策にできる範囲で取り組めばよいと考える」を選んだ事業所(25社)のみ回答

(n=25)

・地球温暖化対策に取り組む、または取り組みたい理由として「地球温暖化防止や環境問題解決に貢献したいから」が最も多かった。

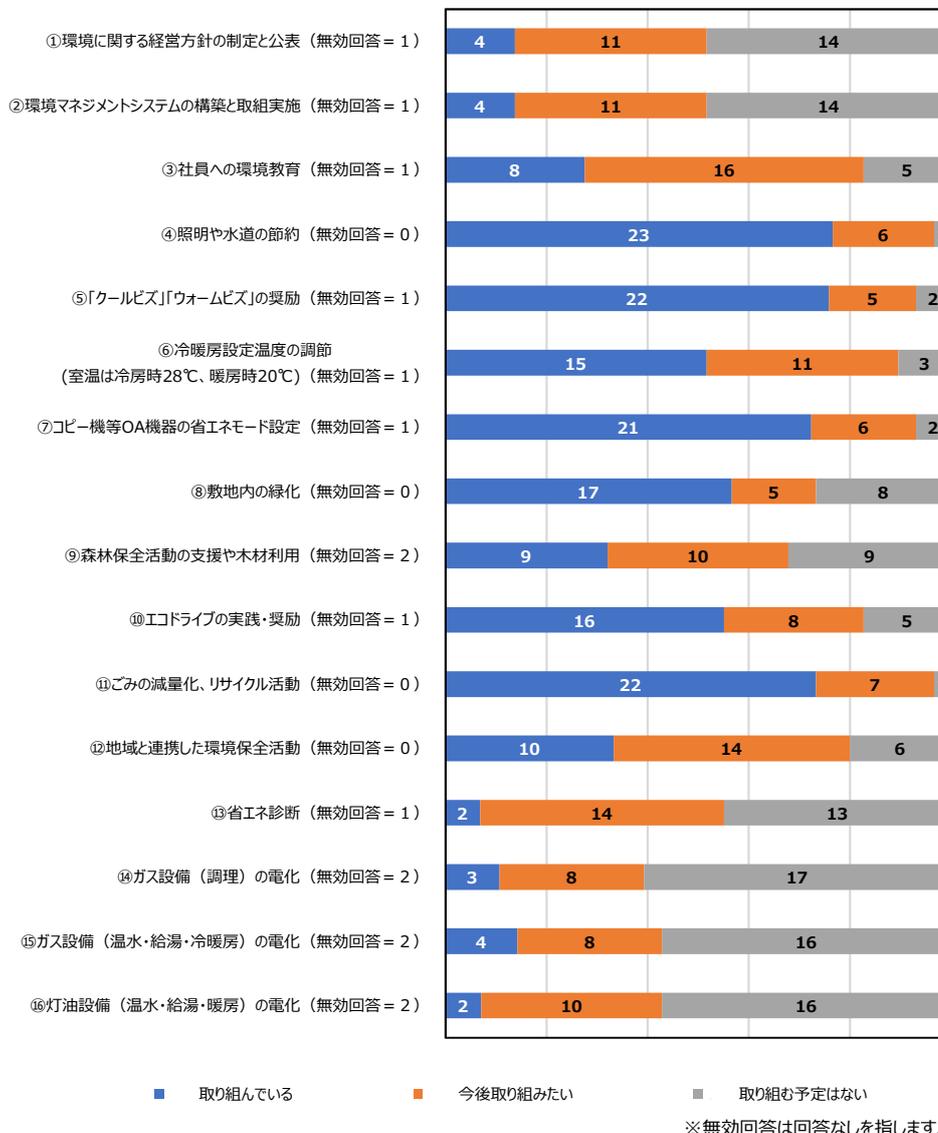


**【質問5】** 貴事業所で実施している、あるいは今後実施する予定の地球温暖化対策について、該当するものを選択してください。

(n=30)

・取り組んでいる項目では、「照明や水道の節約」、「クールビズ」「ウォームビズ」の奨励」「ごみの減量化、リサイクル活動」、「コピー機等 OA 機器の省エネモード設定」の順に回答が多かった。

・取り組む予定のない項目では、「ガス設備（調理）の電化」、「ガス設備（温水・給湯・冷暖房）の電化・灯油設備（温水・給湯・暖房）の電化」、「環境に関する経営方針の制定と公表」「環境マネジメントシステムの構築と取組実施」の順に回答が多かった。

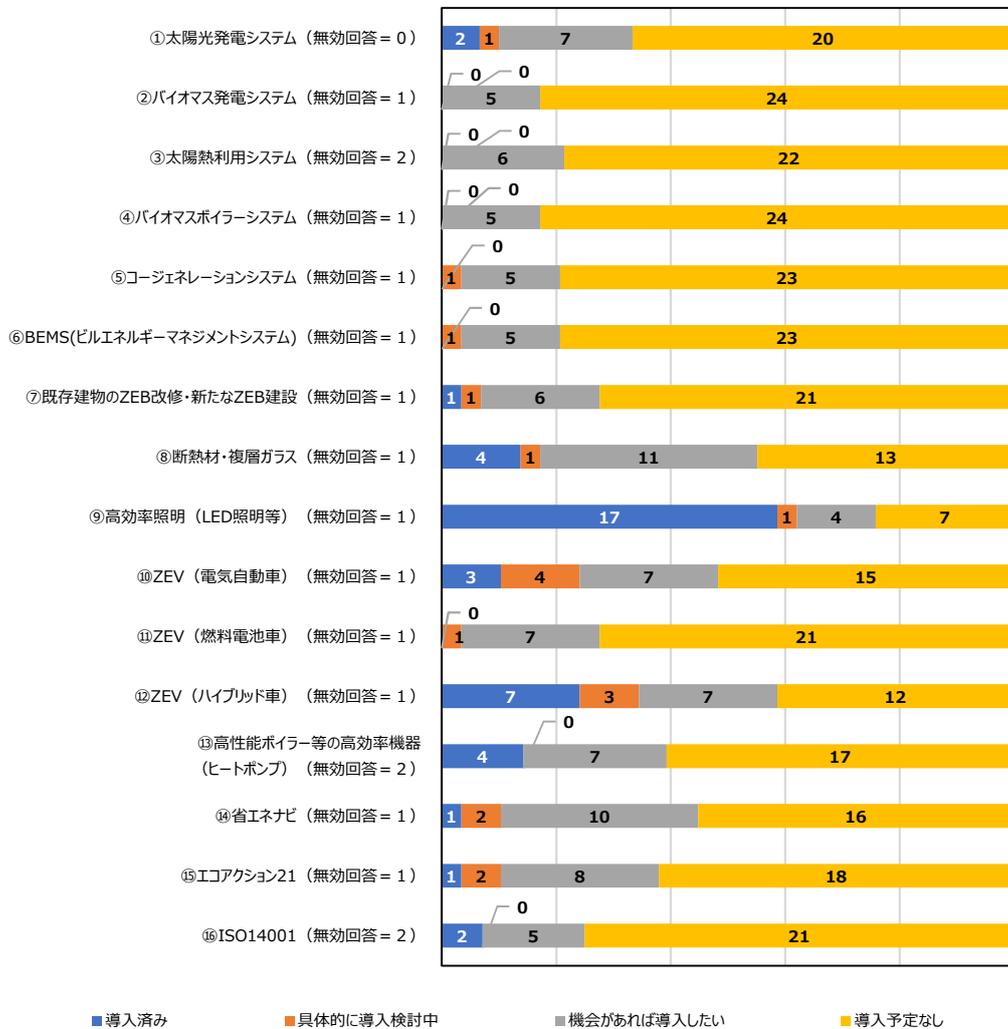


【質問6】省エネルギー及び再生可能エネルギー設備に関する貴組織の導入状況について、該当するものを選択してください。

(n=30)

・導入済みの設備については、「高効率照明（LED照明、Hf型照明等）」、「ZEV（ハイブリッド車）」、「断熱材・複層ガラス・高性能ボイラー等の高効率機器（ヒートポンプ）」の順で多かった。

・導入する予定はない設備の合計回答数では、「バイオマス発電システム・バイオマスボイラーシステム」、「コージェネレーションシステム・BEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム）」、「太陽熱利用システム」の順で多かった。



※無効回答は回答なしを指します。

**【質問7】** 質問6の設備の導入にあたり、何を優先しますか。優先するポイントを4つ選び、優先度順に1～4の番号をつけてください。

※優先度1を4ポイント、優先度2を3ポイント、優先度3を2ポイント、優先度4を1ポイントとして集計し、その合計を下の図に反映しています。

(n=105 ※優先度1～4の回答数の合計)

・設備導入における優先事項は、「長期的な経済的メリット（将来の利得）」が最も優先度が高く、次いで「利便性・快適性の向上」、「環境負荷の低減」となった。

**【回答】**

長期的な経済的メリット（将来の利得）：69ポイント

利便性・快適性の向上：50ポイント

環境負荷の低減：49ポイント

災害時の対応力の向上：39ポイント

短期的な経済的メリット（初期投資の節約）：36ポイント

企業イメージ：9ポイント

**【質問8】**「再エネ電気プラン」のような電力プランを利用したいと思いますか。

(n=29)

・「電気料金が現在と同等か安ければ利用したい」と回答した事業所が最も多かった。

**【回答】**

電気料金が現在と同等か安ければ利用したい：8事業所/29事業所

利用するつもりはない：6事業所/29事業所

すでに利用している：5事業所/29事業所

停電等にならず安定的に受電できるのであれば利用したい：5事業所/29事業所

ぜひ利用したい：2事業所/29事業所

利用に係る手続きが簡単であれば利用したい：2事業所/29事業所

地球温暖化対策の効果が定量的に把握できれば利用したい：1事業所/29事業所

地域の自然環境保全や活性化につながるのであれば利用したい：0事業所/29事業所

**【質問9】**太陽光設備の導入、再エネ電力の契約など、共同実施することでスケールメリットが期待できる対策の実施について、機会があれば他業者や行政と連携・協力したいと思いますか。

(n=29 ※複数回答のあった1事業者の回答も含む)

・「事業の内容によって連携・協力したい」と回答した事業所が最も多かった。

**【回答】**

事業の内容によって連携・協力したい：12事業所/29事業所

連携・協力は困難である（協力できない）：9事業所/29事業所

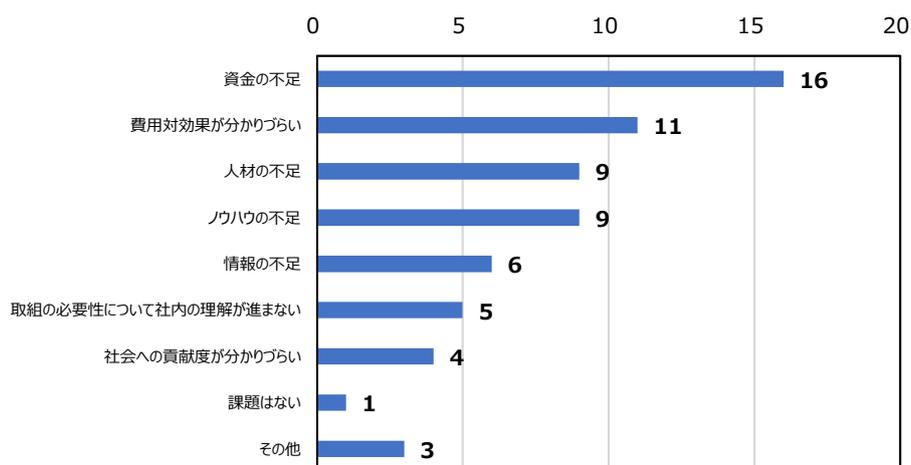
参加する事業所の数によっては連携・協力したい：5事業所/29事業所

積極的に連携・協力したい：4事業所/29事業所

**【質問 10】** 貴事業所において地球温暖化対策を進める上で課題となっていることは何ですか。(複数回答可)

(n=64 ※複数回答のため回答数)

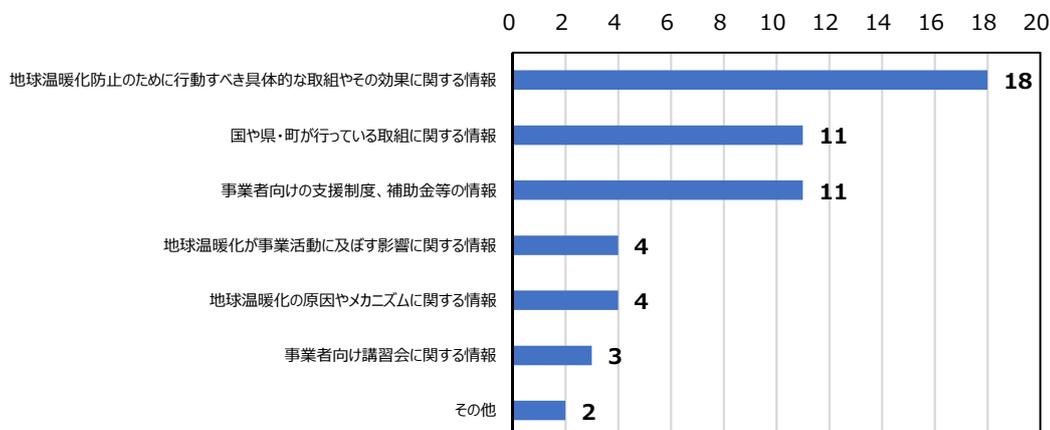
・事業所が地球温暖化対策を進める上で課題となっていることは、「資金の不足」が最も多く、次いで「費用対効果が分かりづらい」、「人材の不足・ノウハウの不足」となった。



**【質問 11】** 貴事業所が知りたい地球温暖化に関する情報は何か。(複数回答可)

(n=53 ※複数回答のため回答数)

・事業所が知りたい地球温暖化に関する情報は、「地球温暖化防止のために行動すべき具体的な取組やその効果に関する情報」が最も多く、次いで「国や県・町が行っている取組に関する情報・事業者向けの支援制度、補助金等の情報」、「地球温暖化が事業活動に及ぼす影響に関する情報・地球温暖化の原因やメカニズムに関する情報」となった。



**【質問 12】** 地球温暖化対策への対応について、町に行ってほしい取組は何ですか。重要と思う取組を4つ選び、優先度順に1～4の番号をつけてください。

※優先度1を4ポイント、優先度2を3ポイント、優先度3を2ポイント、優先度4を1ポイントとして集計し、その合計を下の図に反映しています。

(n=108 ※優先度1～4の回答数の合計)

・事業所が町に行ってほしい取組は、「補助金等支援制度の充実」が最も優先度が高く、次いで「町として具体的な地球温暖化対策の目標を示すこと」、「取組事業者に対する優遇制度の創設及び充実」となった。

**【回答】**

補助金等支援制度の充実：68ポイント

町として具体的な地球温暖化対策の目標を示すこと：54ポイント

取組事業者に対する優遇制度の創設及び充実：50ポイント

事例や効果等の情報提供：39ポイント

住民や事業所に対する普及啓発活動：31ポイント

地球温暖化防止対策・省エネ対策についての相談窓口の充実：18ポイント

活動の中心となる人材の育成：6ポイント

セミナーや講義の実施：4ポイント

以上